



桜丘中学校・梅香中学校 統合準備委員会ニュース

【第6号】

このお知らせは、「茨城町立中学校統合準備委員会」における協議の状況を、保護者の皆さまや地域の皆さまにお知らせするために発行しています。

今号では、12月6日に開催されました第7回統合準備委員会での協議内容についてお知らせいたします。

専門部会からの報告！



専門部会からの報告の様様

◆ 11月26日(月)午後5時から梅香中学校において、ジャージ等業者選定プレゼンテーションが開催され、その内容について、以下のとおり報告がありました。

○ 参加者は、桜丘中・梅香中PTA本部役員及び職員、統合準備委員、町教育委員会職員など約50名

○ 参加業者は4社

○ プレゼンの方法：①プレゼンテーションの順番は、前回の部会でクジ引きにより決定済み、②1社の持ち時間は30分以内(質疑応答の時間も含む)、③ジャージの提案は5点以内(持ち時間内であれば、ウィンドブレーカーの説明も可)

○ 各社からのプレゼンテーション終了後、参加した方から意見や感想を伺いました。

○ 4社全てのプレゼンテーションを聴取した方により、提案商品の「コンセプト」・「特徴」・「機能面」・「安全性」・「生徒指導」・「その他の提案」と業者への「信頼性」の面から評価をし、投票を行いました。

○ 今後の予定は、今回の投票結果に生徒及び保護者の投票結果を加味し、制服等検討部会の職員で協議後、統合準備委員会への報告及び意見を聴取して業者を決定します(1月予定)。

※ 投票(評価)の結果、全体的に評価の高かった2社に絞り、生徒及び保護者の投票結果を加味して、業者を決定していくこととしました。

また、12月11日(火)に制服等のプレゼンテーションを行いました。その詳細については、次号でお知らせいたします。

スクールバスについて



統合準備委員会での協議の様様

◆ 他市町村の状況について

○ 県内で、中学校向けにスクールバスを導入している自治体は、水戸市・常陸大宮市・行方市・取手市の4市(4校)です。

○ 水戸市は、双葉台中学校において旧山根中学校区の地域を対象に導入しています。当初は、自転車通学でありましたが、進学する児童が自転車通学の練習中に交通事故に遭い、その事故を契機にスクールバス導入となりました。この地域からの通学距離は、10km以上です。

○ 常陸大宮市は、緒川中学校において導入しています。この地域は山間部であり、平均通学距離は約5km、最長通学距離は約10kmです。

○ 行方市は、現在、小中学校の再編を進めている自治体であり、麻生第一中学校と麻生中学校の2校が統合してできた麻生中学校において導入しています。

○ 取手市は、永山中学校で導入していますが、永山小学校と共用しており、中学生は、大雨や台風など悪天候時のみの利用となっています。導入されたきっかけは、学区内の地域に火葬場が建設されることになり、その条件としてスクールバスの導入を地域住民が要望したためであります。

○ スクールバスの所有形態と運行形態は、水戸市が自治体所有で直営で運行していますが、その他の自治体については、バス事業者等へ業務委託をしています。

○ 利用者の負担金については、行方市において一人につき年間33,000円を保護者から徴収していますが、その他の自治体においては徴収していません。

○ 部活動の朝練や土日等の対応については、どの自治体も対応しておらず、通常の登下校時のみ運行しています。

○ 授業参観や体育祭等の学校行事については、どの自治体も対応しており、スクールバスを運行しています。

※ 各自治体において、地形的な問題や特殊事情によりスクールバスを導入していることから、単純に通学距離の観点からのみ検討することは困難であり、当町は当町の現状に基づいた検討を進めていく必要があります。

◆ 当町における通学の現状

○ 平均距離及び最長距離（現在の在校生のデータより）

明光中～平均距離：4.1km, 最長距離：10.5km, 桜丘中～平均距離：4.2km, 最長距離：9.0km,
梅香中～平均距離：3.8km, 最長距離：9.0km

○ 学区における最長距離（実測による）

明光中学区：前谷～（広浦）～（中石崎）～（飯塚）～明光中 → 10.5km

前谷～（柘原）～（新興）～（中山）～明光中 → 10.5km

桜丘中学区：木部南部～（どきどき）～桜丘中 → 9.0km

木部南部～（五里峰）～桜丘中 → 8.6km

梅香中学区：昭和～（宮ヶ崎）～（本郷）～（神谷）～梅香中 → 11.0km

昭和～（宮ヶ崎）～（海老沢）～（駒場）～梅香中 → 8.5km

○ 梅香中から桜丘中までの距離（実測による）

梅香中～（駒場小前）～（奥谷坂上）～桜丘中（南門） → 2.3km

梅香中～（駒場小前）～（奥谷交差点）～桜丘中（正門） → 2.7km

◆ 通学路整備計画について

○ 町では、小中学校の再編により、新たな通学路として想定される路線の安全確保を目的として、道路の拡幅や歩道の設置など整備計画を策定し、年次的に整備をしていきます。また、防犯灯や横断歩道、信号機の設置など通学路において危険な箇所を調査・把握し、道路整備と併せて整備と関係機関に要望を行っていきます。

◆ 主な意見

○ スクールバス導入の是非について、個人的な考え・思い等を委員から伺いました。

* 通学手段として、既存の路線バスを活用する方法もある。登下校時の時間帯にバスの運行がなければ、バス事業者に増便の要望を行う。もし、路線バスが活用出来れば、バス停付近に駐輪場となり得る場所を確保し、そこから集団で登下校する。

* 生徒たちの学校生活を考えると、朝練や放課後・土日等の部活動がある。スクールバスが導入されれば、保護者の送迎の機会が増えるのではないか。スクールバスにかかる予算でハード面を整備するとか、統合小学校向けのスクールバスに、中学生も一緒に乗車出来るような対応を考えれば良いのではないか。

* 上野合地区は沼前地区に比べ、統合中学校までそれほど遠くはなく、歩道もある程度整備されているため、安全性がそれなりに確保されていると思う。もし、スクールバスを導入するのであれば、一部の地区で試運行し、予期せぬ不具合を未然に防止するなどの対応が必要である。

* 小学校の統合時に導入してはどうか。

* 沼前地区の生徒の通学距離が延びることは確実である。通学路は一部で歩道が整備されていなかったり、道路が狭かったり、全体的に道路の整備が遅れている。このことから、保護者のスクールバス導入の要望はかなり強い。

* 中学生は体が成長する時期であり、自転車通学をすることでかなり体力はつくのかと思う。中学校は3年間しかないため、少し厳しさを経験しても良いのではという思いがある一方、その逆の思いもあり、試行錯誤しながら対応を考えていく必要があると思う。

* 当町の道路状況は悪く、自転車通学には心配な面が多い。体力面から言えば、自転車通学は良いことだと思うが、生徒たちが安全に通学出来るよう環境整備をしていく必要があると考える。

* 中学校の3年間は、鍛えるための3年間だと思う。社会へ出てからのためにも3年間の自転車通学でしっかり鍛えてもらいたい。また、通学時の事故等が起こらぬよう道路整備を行ってほしい。

* 生徒たちには、新しい中学校に通って本当に良かったという思いで卒業してもらいたい。それには、生徒が安全に通学出来るということが大前提である。地域の方々には、これまでも立哨をしていただいているが、統合後も引き続き、学校及び地域全体で生徒たちを見守っていくことが重要だと思う。

* 現状において、雨天時の保護者送迎による通学は少なくはない。梅香中学区の生徒が統合中に通学することになれば、県道と中通りに分散し、職員の立哨範囲は広がり、生徒たちの安全確保は、今までよりも困難になることが予想される。スクールバスを導入する場合、例えば、自宅から沼前小までは自転車で通学し、沼前小と統合中の間をスクールバスで送迎すれば、スクールバスの本数や送迎時間を削減できるのではないか。

※ 上記は、あくまで現時点で考える委員の個人的な意見でありますので、あらかじめご承知願います。今後は、より多くのご意見等をいただきながら、最良の方法を導くために、慎重かつ適切に協議を重ねてまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。

次回の統合準備委員会は、1月下旬に開催する予定です。

桜丘中学校・梅香中学校統合準備委員会ニュース【第6号】
編集・発行：茨城町立中学校統合準備委員会
事務局：茨城町教育委員会学校教育課内
TEL:029-292-1111 内線206 FAX:029-292-8032

※ 統合準備委員会の議事録及びニュースは、町のホームページでご覧になれます。